



健康づくりは幸せづくり  
Making Health is making happiness

第63期

# 株 主 通 信

平成28年4月1日～平成29年3月31日

## Contents

株主の皆様へ	P.1
営業の概況（連結）	P.3
研究開発の状況	P.5
研究開発パイプライン	P.6
生産物流の状況／次期の見通し	P.7
株主様ご優待のお知らせ	P.8
トピックス	P.9
財務諸表（連結）	P.11
会社情報	P.13
株式情報	P.14
株主メモ	



ゼリア新薬  
Z E R I A

株主の皆様には、平素より格別のご支援を  
賜り、厚く御礼申し上げます。

第63期の事業概況に関しまして、ここに  
ご報告させていただきます。



代表取締役会長兼CEO  
伊部幸顕

代表取締役社長兼COO  
伊部充弘

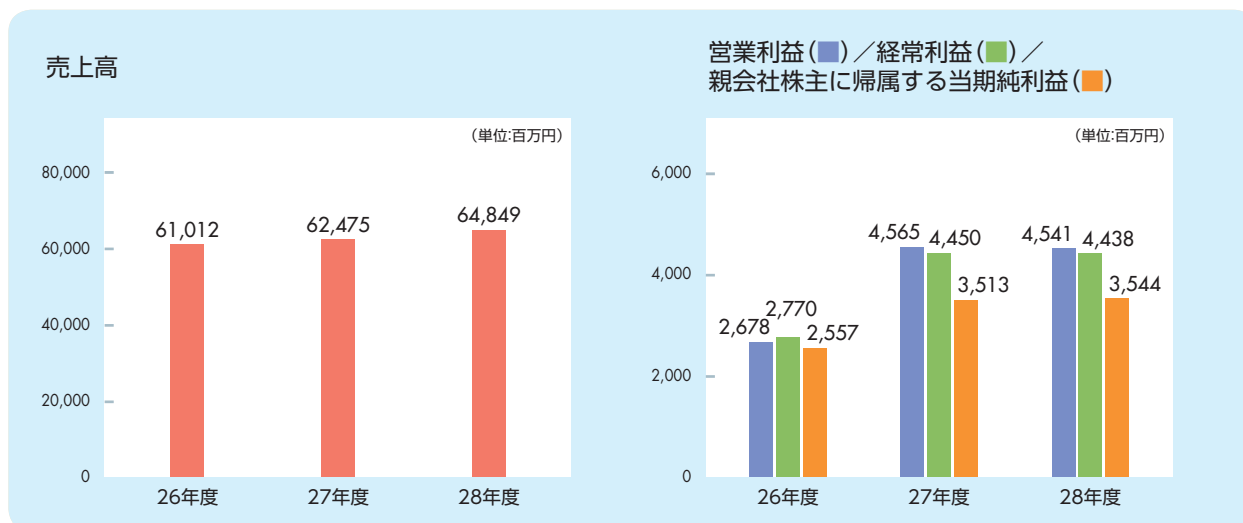
当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調を辿ってまいりましたが、中国をはじめとする新興国経済の減速、英国のEU離脱やトランプ政権の誕生に代表される保護主義の台頭、さらには朝鮮半島の政治的緊張の高まりなど、海外の政治・経済の動向が株式・為替等金融市場の先行きや企業業績に及ぼす影響について、不透明感が増大する状況となりました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、医療費抑制策の一環として薬価制度の見直しや後発医薬品使用の促進が従来にも増して強力的に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても市場競争の激化が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは平成26年度を起点とする3カ年の第8次中期経営計画(平成26年度～平成28年度)の最終年度にあたる当連結会計年度において、海外事業を積極的に展開させるとともに、従来より「車の両輪」と捉えております医療用医薬品事業とコンシューマーヘルスケア事業を力強く成長させるべく経営資源の積極的な投入を行ってまいりました。

これらの活動の結果、当連結会計年度は、売上高648億49百万円(前期比3.8%増)、営業利益45億41百万円(前期比0.5%減)、経常利益44億38百万円(前期比0.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益35億44百万円(前期比0.9%増)となりました。

なお、当連結会計年度の海外売上高比率は24.6%(前期20.0%)となっております。



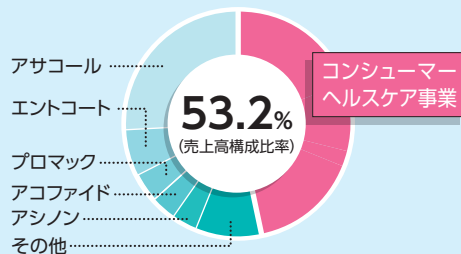
## 医療用医薬品事業

### 売上高

**344億30**百万円

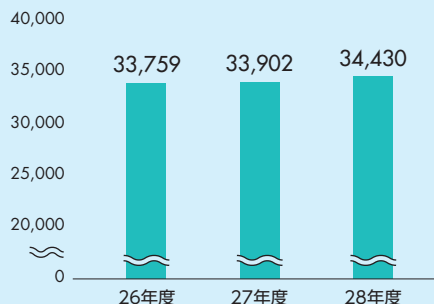
[ 前期比 ▶ 1.6%増 ]

### 主要製品売上高



アサコール	166.5億円
エントコート	43.5億円
プロマック	25.6億円
アコファイド	24.9億円
アシノン	22.2億円

### 医療用医薬品事業連結売上高(単位:百万円)



当事業におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR(医薬情報担当者)の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」は、国内におきましては、平成28年4月の薬価改定および後発品の影響を受け苦戦いたしました。一方、海外におきましては、英国での伸長などにより順調に売上を拡大いたしました。また、当社の100%子会社であるTillotts Pharma AGがAstraZenecaより米国を除く全世界における権利を取得した炎症性腸疾患治療剤「Entocort®」につきましては、当連結会計年度末までに欧州、カナダ等の主要国における製造販売承認権の承継を終了し、売上を順調に拡大中であります。なお、国内におきましてはクローン病治療剤「ゼンタコート®」として、平成28年11月に販売を開始し、早期の市場浸透に努めております。機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」につきましては、市場構築が計画比遅れる状況となっておりますが、医療機関における疾患および治療法などの認知度を高めることにより進展を図っております。

これらの結果、当事業の売上高は、344億30百万円(前期比1.6%増)となりました。



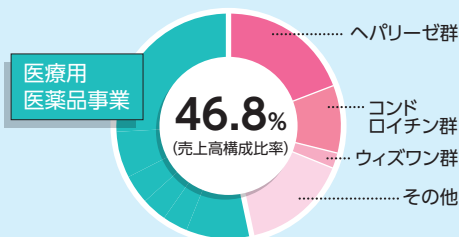
## コンシューマーヘルスケア事業

### 売上高

**302億77** 百万円

[ 前期比 ▶ 6.5%増 ]

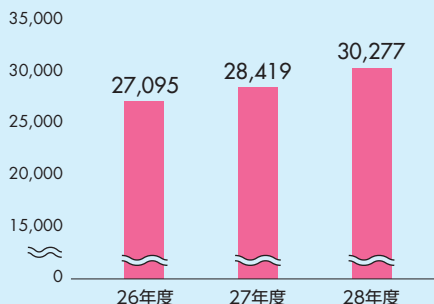
### 主要製品売上高



ヘパリーゼ群	<b>125.8</b> 億円
コンドロイチン群	<b>71.1</b> 億円
ウィズワン群	<b>15.9</b> 億円

### コンシューマーヘルスケア事業連結売上高

(単位:百万円)



当事業におきましては、超高齢社会が進展する中、生活者のセルフメディケーションをサポートする製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

主力製品群である「ヘパリーゼ®群」につきましては、テレビCMなどの広告宣伝活動を積極的に展開した結果、製品認知度がさらに向上し、引き続き売上を拡大いたしました。なかでも、平成28年3月に発売したコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼ®Wプレミアム」(清涼飲料水)が売上に大きく寄与しております。また、ドラッグストア向けミニドリンク剤の上位品として「ヘパリーゼ®キングプラス」(第2類医薬品)および「ヘパリーゼ®キングEX」(第2類医薬品)を平成28年10月に発売し、製品ラインアップを強化いたしました。「コンドロイチン群」につきましては、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、引き続き圧倒的な市場シェアを堅持しております。

これらの結果、当事業の売上高は、302億77百万円(前期比6.5%増)となりました。



研究開発部門におきましては、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績のある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

最重点領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、「Z-206(アサコール®)」は、協発発酵キリン株式会社と共同で潰瘍性大腸炎を対象とした、用法・用量を追加するフェーズⅢを実施し、平成28年7月に当社が承認申請を行っておりましたが、平成29年5月に承認を取得いたしました。また、中国での開発につきましては、フェーズⅢを終了し、平成25年5月に承認申請を実施済みであります。

自社オリジナル品の「Z-338(アコファイド®)」につきましては、欧州において機能性ディスペプシアを対象としたフェーズⅢを実施しております。

クローン病治療剤「ゼンタコート®」につきましては、平成28年9月に製造販売承認を取得し、同年11月に販売を開始いたしました。

「Z-100」につきましては、子宮頸癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅢ国際共同治験を実施しております。

「Z-360」につきましては、膵臓癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅡ国際共同治験を実施しております。

スイスVifor (International) AGから導入いたしま

した鉄欠乏性貧血治療剤「Z-213」につきましては、フェーズⅢを実施しております。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、引き続き西洋ハーブ製剤の開発を進めるとともに、新製品を順次発売いたしました。

Tillotts Pharma AGは欧州を中心に下部消化器疾患治療薬の開発を進めております。

新技術を適用した改良型メサラジン製剤「TP05」につきましては、潰瘍性大腸炎を対象としてフェーズⅢを終了し、平成29年1月に欧州において承認申請を行いました。

米国Cancer Prevention Pharmaceuticals, Inc.と共同開発中の「TP09」につきましては、家族性大腸腺腫症を対象として、欧州・米国においてフェーズⅢを実施しております。

これらの活動の結果、当連結会計年度の研究開発費は前年度実績から減少し、84億58百万円(前期比1.4%減)となりました。

## ● 新薬パイプラインの状況

### I. 国内開発状況

(平成29年6月16日現在)

#### 1) 消化器系分野

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
承認	Z-206／メサラジン (アサコール®用法・用量追加)	ゼリア(協和発酵 キリンとの共同開発)	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅡ (アジア共同治験)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品

#### 2) その他の分野

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
フェーズⅢ (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅢ	Z-213/ カルボキシマルトース第二鉄	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品

#### 発売となった開発品

発売日	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	備考
平成28年 11月29日	ブデソニド (製品名:ゼンタコート®)	アストラゼネカ	クローン病	糖質コルチコイド	導入品

### II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
承認申請中 (中国)	Z-206／メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338／アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
承認申請中 (欧州)	TP05／メサラジン	Tillotts Pharma	潰瘍性大腸炎	OPTICORE DDS技術	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州・米国)	TP09/ CPP-1X・スリンダク	Tillotts Pharma (Cancer Prevention Pharmaceuticalsとの 共同開発)	家族性大腸腺腫症	ポリアミン生合成抑制	導入品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338／アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ (アジア)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品:自社グループオリジナル品

#### ご参考

#### フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

#### フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少人数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法をプラセボ\*と比較しながら調べます。

#### フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

\*プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

## ● 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進めてまいりました。生産関連部門では、より高い品質の確保とともに製造原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。一方、物流関連部門では、物流業務のアウトソーシングを実施するなか、さらなる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

なお、前連結会計年度の埼玉工場に続いて、当連結会計年度は、筑波工場において、需要の拡大が見込まれるドリンク剤の安定供給のため、生産能力の増強を目的としたリニューアル工事を行ってまいりましたが、平成29年3月に終了し、操業を開始しております。

## ● クローズアップ

### 「新ヘパリーゼ®ドリンク」 「ヘパリーゼ®Hi」をリニューアル

「新ヘパリーゼ®ドリンク」 「ヘパリーゼ®Hi」の処方を見直し、リニューアルした新製品を発売しました。



### 「ヘパリーゼ®ドリンクII」

「新ヘパリーゼ®ドリンク」をリニューアル。肝臓や胃腸の働きを助ける肝臓水分解物とジクロロ酢酸ジイソプロピルアミンなどに加え、クコシ、オウギを新たに配合した滋養強壮剤です。体の内側から胃腸の働きや肉体疲労などを改善します。

### 「ヘパリーゼ®Hiプラス」

「ヘパリーゼ®Hi」をリニューアル。肝臓水分解物やジクロロ酢酸ジイソプロピルアミンなどの肝臓や胃腸をサポートする成分に加え、抗疲労効果、強壮作用を示すトシシ、イカリソウなど6種類の生薬成分が滋養強壮効果を発揮します。疲れが続きやすい方におすすめです。

## ● 次期の見通し

平成30年3月期(平成29年度)の連結業績につきましては、売上高680億円(前期比4.9%増)、営業利益50億円(前期比10.1%増)、経常利益50億円(前期比12.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益38億円(前期比7.2%増)と増収・増益を見込んでおります。

### 売上高

医療用医薬品事業につきましては、引き続き厳しい状況が続くなかではありますが、海外における潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」の伸長や炎症性腸疾患治療剤「Entocort®」の寄与、国内では機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」の市場構築の進展などにより、増収を見込んでおります。また、コンシューマーヘルスケア事業につきましても、「ヘパリーゼ®群」をはじめとした主力製品の伸長により、増収を見込んでおります。

### 利益

国内外で実施している治験の進捗などにより研究開発費が引き続き高水準で推移することや広告宣伝費などの増加を見込んでおりますが、主力製品の売上高の増加により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに増益を見込んでおります。

	第63期	第64期(予想)
売上高	648億49百万円 (前期比 3.8%増)	680億円 (前期比 4.9%増)
営業利益	45億41百万円 (前期比 0.5%減)	50億円 (前期比 10.1%増)
経常利益	44億38百万円 (前期比 0.3%減)	50億円 (前期比 12.7%増)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	35億44百万円 (前期比 0.9%増)	38億円 (前期比 7.2%増)



# 株主様ご優待のお知らせ



当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。

当社株式1,000株以上をご所有の株主様にはA～F、6つのコースからご希望のいずれかを、100株以上1,000株未満をご所有の株主様にはGコースをお届けいたします。

ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくご申し上げます。

**A**  
コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・特定保健用食品  
「アルミ缶入りドリンク・ヘパリーゼ®Wセット」



**B**  
コース

健康飲料  
「コンドロビー®  
濃縮液潤甦®  
(じゅんこう)」  
2本セット



**C**  
コース

美容・健康商品  
「コンドロマックス®・アポスティ®セット」



**D**  
コース

コンドロイチン配合夜間集中美容液  
「ZZ:CC®(ジージー・シーシー)  
アドソープ  
エッセンス(30g)」  
2本セット

\*本製品はゼリアオンラインショップ  
(<http://www.zeriaonline.com/>)でお  
買い求めいただけます。



**E**  
コース

上質なうるおいを実感する3品目  
「IONAベーシックスキンケア3点セット」



**F**  
コース

高純度コンドロイチン、天然イオン配合で年齢肌  
にハリとうるおいを  
「イオナR  
スペシャルケア  
2点セット」

\*本製品はゼリアオンラインショップ  
(<http://www.zeriaonline.com/>)  
でお買い求めいただけます。



**G**  
コース

肝臓エキス・ウコンエキス配合ドリンク  
「ヘパリーゼ®W」10本



## クローン病治療剤「ゼンタコート®カプセル3mg」新発売

当社は平成28年11月29日にクローン病治療剤「ゼンタコート®カプセル3mg」を発売しました。

クローン病は原因不明の慢性炎症性腸疾患で、腹痛や下痢、血便、体重減少などの症状が発現します。この疾患は口腔から肛門にいたるまで、消化管のどの部位にも炎症や潰瘍が起こりますが、特に小腸末端部から大腸にかけて多く発症します。

「ゼンタコート®」は「Entocort®」として全世界40か国以上で販売されており、海外のガイドラインにおいてクローン病治療の第一選択薬として推奨されているブデソニド製剤です。

日本国内では厚生労働省の開発要請を受けて平成22年12月にAstraZenecaが開発を開始し、平成27年7月、スイスの当社子会社Tillotts Pharma AGがAstraZenecaから「Entocort®」の米国を除く全世界の権利を取得したことに伴い、当社が平成27年10月に製造販売承認申請し、平成28年11月29日に発売しました。

「ゼンタコート®」は小腸および結腸近位部で有効成分のブデソニドを放出するように設計された腸溶性徐放製剤で、軽症から中等症の活動期クローン病に対する治療を効能・効果とします。ブデソニドは局所作用型の糖質コルチコイドで、吸収後は肝臓で速やかに代謝を受け、全身性の副作用が軽減されることが特長です。

当社は「ゼンタコート®カプセル3mg」の販売を通じて、クローン病治療に新たな選択肢を提供できるものと考えております。



## 「ヘパリーゼ®キングプラス」および「ヘパリーゼ®キングEX」新発売

当社は平成28年10月1日より滋養強壮ミニドリンク剤「ヘパリーゼ®キングプラス」（第2類医薬品）および「ヘパリーゼ®キングEX」（第2類医薬品）を発売しました。

当社はヘパリーゼブランドの医薬品として、錠剤の「ヘパリーゼ®プラスII」、ミニドリンク剤の「ヘパリーゼ®ドリンクII」、「ヘパリーゼ®Hiプラス」、「ヘパリーゼ®キング」を販売し、大変好評をいただいております。

「ヘパリーゼ®キングプラス」および「ヘパリーゼ®キングEX」は「ヘパリーゼ®キング」の上位品で、肝臓水解物を増量し、健胃生薬、強壮生薬、ローヤルゼリーを配合した新製品です。疲労にお悩みの方々をサポートしてまいります。

### 「ヘパリーゼ®キングプラス」の特長

「ヘパリーゼ®」ドリンクシリーズの中で最高量の肝臓水解物300mgに加え、健胃生薬として「ヘパリーゼ®キング」の倍量のショウキョウおよび新たにケイヒを配合し、弱った肝臓、胃腸に働いて滋養強壮効果を発揮します。

### 「ヘパリーゼ®キングEX」の特長

「ヘパリーゼ®」ドリンクシリーズの最上位品として、肝臓水解物300mgに加え、シゴカ、ローヤルゼリーをはじめとする抗疲労効果、強壮・代謝促進作用を示す各種生薬などを配合。弱った肝臓からくる疲労など、ぬけにくい疲れを改善します。



# 財務諸表(連結)

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度	科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在			平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在
<b>[資産の部]</b>				<b>[負債の部]</b>			
<b>流動資産</b>		<b>39,695</b>	<b>38,764</b>	<b>流動負債</b>		<b>48,245</b>	<b>45,178</b>
現金及び預金		12,343	9,250	支払手形及び買掛金		2,041	2,272
受取手形及び売掛金		14,763	16,620	短期借入金		39,037	33,061
たな卸資産		8,013	8,608	その他		7,166	9,843
繰延税金資産		744	718	<b>固定負債</b>		<b>6,865</b>	<b>5,674</b>
その他		3,869	3,599	長期借入金		4,653	2,884
貸倒引当金		△39	△33	退職給付に係る負債		643	757
<b>固定資産</b>		<b>79,482</b>	<b>75,592</b>	資産除去債務		75	54
<b>有形固定資産</b>		<b>23,274</b>	<b>24,154</b>	その他		1,492	1,978
建物及び構築物		8,428	8,252	<b>負債合計</b>		<b>55,110</b>	<b>50,853</b>
機械装置及び運搬具		2,635	3,764	<b>[純資産の部]</b>			
土地		11,671	11,698	<b>株主資本</b>		<b>56,454</b>	<b>57,928</b>
建設仮勘定		143	58	<b>資本金</b>		<b>6,593</b>	<b>6,593</b>
その他		394	379	<b>資本剰余金</b>		<b>12,055</b>	<b>11,685</b>
<b>無形固定資産</b>		<b>35,783</b>	<b>33,884</b>	<b>利益剰余金</b>		<b>37,810</b>	<b>39,654</b>
<b>投資その他の資産</b>		<b>20,424</b>	<b>17,553</b>	自己株式		△4	△5
投資有価証券		12,471	9,206	その他の包括利益累計額		7,280	5,423
繰延税金資産		13	31	<b>その他有価証券評価差額金</b>		<b>879</b>	<b>231</b>
退職給付に係る資産		7,113	7,686	<b>為替換算調整勘定</b>		<b>4,212</b>	<b>2,520</b>
その他		870	670	<b>退職給付に係る調整累計額</b>		<b>2,188</b>	<b>2,670</b>
貸倒引当金		△43	△41	<b>非支配株主持分</b>		<b>332</b>	<b>152</b>
<b>資産合計</b>		<b>119,178</b>	<b>114,357</b>	<b>純資産合計</b>		<b>64,067</b>	<b>63,504</b>
				<b>負債・純資産合計</b>		<b>119,178</b>	<b>114,357</b>

## 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで	平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで
売上高		62,475	64,849
売上原価		17,930	18,168
売上総利益		44,544	46,680
返品調整引当金戻入額		62	58
返品調整引当金繰入額		58	48
差引売上総利益		44,548	46,691
販売費及び一般管理費		39,982	42,149
営業利益		4,565	4,541
営業外収益		352	337
営業外費用		467	440
経常利益		4,450	4,438
特別利益		1,091	810
特別損失		280	327
税金等調整前当期純利益		5,262	4,920
法人税、住民税及び事業税		602	600
法人税等調整額		1,127	744
当期純利益		3,532	3,575
非支配株主に帰属する当期純利益		18	31
親会社株主に帰属する当期純利益		3,513	3,544

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		平成27年4月 1日から 平成28年3月31日まで	平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,694	7,238
投資活動によるキャッシュ・フロー		△32,709	△703
財務活動によるキャッシュ・フロー		22,416	△8,982
現金及び現金同等物に係る換算差額		△1,070	△644
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）		△5,669	△3,092
現金及び現金同等物の期首残高		17,880	12,210
現金及び現金同等物の期末残高		12,210	9,118

## 連結株主資本等変動計算書（要旨）

（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

（単位：百万円、端数切捨て）

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	6,593	12,055	37,810	△4	56,454	879	4,212	2,188	7,280	332	64,067
当期変動額											
剰余金の配当			△1,699		△1,699						△1,699
親会社株主に帰属する当期純利益			3,544		3,544						3,544
自己株式の取得				△0	△0						△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△370			△370						△370
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						△647	△1,691	482	△1,856	△179	△2,036
当期変動額合計	—	△370	1,844	△0	1,473	△647	△1,691	482	△1,856	△179	△562
当期末残高	6,593	11,685	39,654	△5	57,928	231	2,520	2,670	5,423	152	63,504

## ■ 会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,767名(連結)
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売および輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売および輸出入

## ■ 役員

代表取締役 会長兼CEO	伊 部 幸 顕
代表取締役 社長兼COO	伊 部 充 弘
取締役副社長	遠 藤 広 和
常務取締役	岸 本 誠
取 締 役	大 野 晃
取 締 役	小 森 哲 夫
取 締 役	加 藤 博 樹
取 締 役	平 賀 義 裕
取 締 役	石 井 克 幸
取 締 役	河 越 利 明
取 締 役	吉 島 光 之
常勤監査役	高 見 幸二郎
常勤監査役	降 旗 繁 弥
監 査 役	中 由 規子
監 査 役	若 林 博 史

## ■ 事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 東京第3営業所
- 神奈川第1・第2営業所
- 埼玉営業所
- 千葉営業所
- 北関東営業所
- 甲信越営業所
- 名古屋支店
- 静岡営業所
- 大阪支店
- 大阪第2営業所
- 神戸営業所
- 京滋営業所
- 北陸営業所
- 中四国支店
- 岡山営業所
- 高松営業所
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 東京物流センター
- 札幌物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

- 出張所 青森・宇都宮・関越・高崎・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄

## ■ 連結子会社 13社

- Tillotts Pharma AG (スイス)
- ZPD A/S (デンマーク)
- ゼリアヘルスウエイ株式会社
- Tillotts Pharma AB (スウェーデン)
- Tillotts Pharma Ltd. (アイルランド)
- Tillotts Pharma UK Ltd. (英国)
- Tillotts Pharma Czech s.r.o. (チェコ)
- Tillotts Pharma Spain S.L.U. (スペイン)
- Tillotts Pharma GmbH (ドイツ)
- Tillotts Pharma France SAS (フランス)
- イオナ インターナショナル株式会社
- 株式会社ゼービス
- Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd (ベトナム)

## 株式の状況

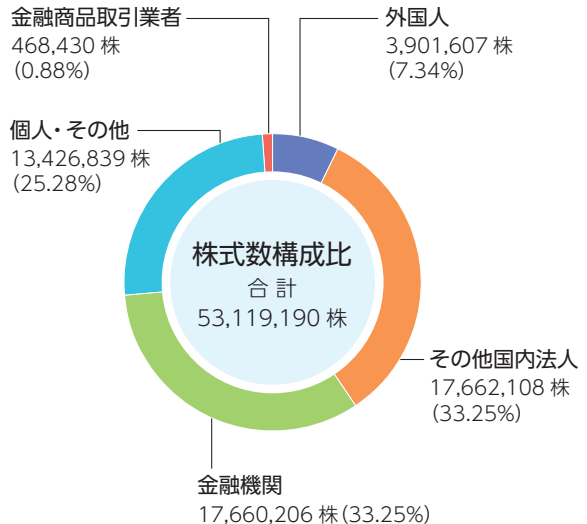
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	53,119,190株
③株主数	15,549名

## 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	4,741,847	8.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,569,400	4.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,107,050	4.0
森永乳業株式会社	2,040,215	3.8
伊部幸顕	1,592,967	3.0
株式会社三井住友銀行	1,406,131	2.6
株式会社みずほ銀行	1,406,053	2.6
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,273,129	2.4
株式会社りそな銀行	1,182,385	2.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	991,000	1.9

(注)出資比率については、自己株式(4,192株)を控除して算出しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株価および出来高の推移

株価(円)

2,500 -

2,000 -

1,500 -

1,000 -

500 -

0

出来高(千株)

- 5,000

- 4,000

- 3,000

- 2,000

- 1,000

0

2016年  
4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2017年  
1月

2月

3月

# 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店  
および全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について  
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

## 最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。



<http://www.zeria.co.jp/>



## ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11  
TEL 03-3663-2351(代表) FAX 03-3663-2352  
03-3661-2080

<http://www.zeria.co.jp/>

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬

ZERIA